

教科横断型授業「英語」×「国語」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(4番)「質の高い教育をみんなに」				
実社会での課題	若い世代における「人間関係形成能力(言葉を適切に用いて人間関係を築き維持していく力)」の衰えが指摘されている。国際化に伴い外国語でのコミュニケーション能力が求められるようになったが、外国語の習得において、母語(国語)の語彙力は大きく影響するという。改めて「言葉」について考え、学びを深める必要がある。				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	1 和歌の英訳を通して「言葉」に対する興味・関心を喚起し、言語文化への理解を深めさせる。 2 「花」を英訳することによって、日本人のものの見方や自然観が時代と共に変化していることに気付かせる。				
主題(教材)	和歌を英語で鑑賞しよう				
指導過程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等	
	導入	本時の目標を確認する。	3	・話し合いや推敲をすることにより、英訳をさらに良いものにするよう意識させる。	
	展開	1 ジグソー班での活動 (1) 班内で、自分が担当する和歌の発表を行う。 (2) 国語科担当教員が和歌の解説を行う。	12	・英訳を元の和歌と比較して、どのような印象を持ったか話し合わせる。 ・四首の和歌に共通するキーワードを考えさせる。	○パソコン ○プロジェクタ ○生徒用端末 ○ワークシート ○ロイロノート
		2 エキスパート班での活動 (1) 班内で自分の英訳を発表する。 (2) 感想、助言を述べ合う。 (3) 推敲する。	15	・それぞれの英訳を鑑賞させ、表現の違いを比較させる。 ・「花」をどのように英訳すべきかを検討させる。	
		3 ジグソー班での活動 (1) 班内で共有する。 (2) クラス全体で発表する。	15	・和歌を英訳してみて感じたことを話し合わせる。 ・キーワード「花」にどのような変遷が見られるかを発表させる。	
整理	1 各和歌集で最も多く詠まれている植物は何か考える。 2 本時のまとめをする。	5	・和歌に詠まれる植物は、時代と共に変化していることに気付かせる。 ・言葉について考え、学びを深めることの大切さを理解させる。		
備考					